

特定非営利活動法人イマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



イマジン通信

Vol.57



平成25年度 イマジン通常総会

理事長 澤島直通

平成25年度のイマジン総会が、5/25(土)に島田市総合スポーツセンターローズアリーナ 多目的室にて執り行われました。多くの正会員、関係機関の方々にお越しいただきまして本当にありがとうございます。

第1部での今年度の事業報告では例年以上に事業の拡大、特に決算報告において収益増の報告をさせていただきました。設立以来、初めての多額の補助金・助成金もあり、また貴重な寄付金についても事業による収益とは分けて説明をする必要のある内容でしたので丁寧に報告させていただきました。

今年度の事業計画には、ヘルパー事業、GH・CH事業、ショートステイ事業、放課後等デイサービス事業に加え、5月より実施させていただいています「指定生活介護施設『風のこえ』」も盛り込むことができました。1つずつ目標としてきた事業を追加する反面、日中活動の実施準備を行ってきた事業の廃止や児童向けに実施してきたウォーキングデイサービス事業や長期休暇（春・夏・冬休み）のデイサービス事業の廃止をさせていただきました。

福祉サービス事業化が進むだけでなく、制度の成熟に伴って必要とされる支援が変化していくのを感じ、事業計画では表すことのできない、一人ひとりのニーズに寄り添った支援を心がけていきます。活動予算も前年度比の4割近い大幅の増加となりました。事業の実施に加え、責任の重さも痛感する事業計画と活動予算となりましたが、皆さんのご協力のおかげでスムーズに審議を終わらせることが出来ました。本当にありがとうございました。



第2部では、「イマジンの“これまでとこれから”」と題して、イマジンが歩んできた10年の道のりを振り返ると共に、これからの事業計画や目指す法人の姿についてお話をしました。

イマジンの“これまで”は設立当初の事務所の様子から始まり、夏期デイサービス等の長期休暇の児童への支援やレスパイト、タイムケアサービスなどの制度内では実施できなかった支援から始めてきた様子をたくさんの写真を見ていただきながら振り返りました。その時の利用者のステキな笑顔と当時の少しだけ若い姿、幼い姿に自然と笑みがこぼれ、「OOくん、若いねえ」「OOちゃん、カワイイ～」と会場から聞こえてきました。その後には、ヘルパー事業、そしてGH・CH事業を始めて『雨やどり』が次々と増えていきます。続いてショートステイ事業の実施、放課後等デイサービス事業の実施、そして、待望の日中活動事業である生活介護事業の実施と現在に至ります。

イマジンの道のりは常に障害当事者・ご家族と共にあることを改めて振り返り、全ての事業、全ての活動がこれらの人たちからの“声”の実現であったことを再確認しました。

利用者のニーズに応えるのは、どの業界、どの事業でも同じですがイマジンが各事業を実施してきた中で聞こえてくる“新たな声（ニーズ）”として「GH・CHを作ってほしい」「生活介護をやってほしい」「就労施設をやってほしい」「看護師配置の放課後デイをやってほしい」等が聞こえてきます。事業としては実施しているものばかりですので作り方は分かります。と同時に課題点も分かっています。イマジンの“これから”は、現在実施している事業も含めて『質の向上』は必須であり、特に職員の質の向上は最重要課題です。事業が増え、大きくなると職員も大勢になります。良い部分も大きくなると同時に指摘を受けてしまうような悪い部分も多くなります。総会でも「誰がどこにいるのか分からない」とのご意見も出ました。皆さんの声を聞いて来れる職員をたくさん持つことがイマジンの支援の質の向上に大きく影響すると思っています。サービスをご利用いただきながら、ご指導をお願いします。

また、“新たな声（ニーズ）”の発生源が各市町に点在してきています。島田市を中心とした事業所から「私の家の近くに来てほしい」との要望が志太榛原圏域の全ての市町にお住いの利用者から聞こえてきます。イマジンの支援を高く評価していただいていると嬉しくも思いますが、まだまだ足りていない地域課題も痛いほど感じます。



たくさんの出席者から様々なご質問やご意見が出ましたが、以前のように要望や熱気のある話は無く楽しい2部だったと感じました。これも、イマジンが必要と訴えていただいた支援を事業化してきた結果だと思えます。

今年度は、新規事業の実施は計画されていません。“これまで”の支援を今よりも自信を持って“これから”に繋げていくことに時間を費やしていきます。もちろん“新たな声（ニーズ）”は届いていますので準備は進めていきます。

これからの10年も今まで通り障害当事者・ご家族と共に歩いていくことを誓いました。



つつい雨やどりの生活 ②

暖かい春があっという間に通り過ぎ、暑～い夏がやって来ました。「暑い、あつい。」と言いつつも、つつい雨やどりの入居者たちはみんな元気です。しかし、障害から体温調節が苦手な方や暑さを訴えられない方ばかりなので、暑さ対策に頭を悩ませています。それと共に、汗疹などの皮膚疾患も増えてくるため、入浴時には特に注意をして見させてもらっています。

生活を支援させていただく上で、『気候』はとっても大切な要素となります。先にも話した様に体温調節が苦手な方にとっては、気候を読む事が環境設定をする上で重要になります。服装、室温などはもちろん、外出先や外出時間も気候によって配慮します。また、雨が降りそうならば、傘やカッパ、タオルなどの持ち物を確認したり、移動手段をバスに変更したりもします。その他にも、季節に合わせた衣替えや、布団・シーツの交換、空調設備の準備や点検など、気候に合わせて気を配ることが沢山あります。

そこで難しいのは、「その気候がその方にとってどうか？」を判断する事です。とても当たり前の事ですが、私たちにとっては普通にしていること、不具合も我慢すればいいことですが…、相手の『感覚』を理解する事は難しいことです。「猛暑」と言われる夏でも、「その暑さがちょうどいい」という方も居ます。自分が「暑い！」と感じていたら、「え～！！」と思ってしまいますよね。しかし、支援をする上では、その感覚を理解しなければいけません。表情・発汗の状態・動き・感情・身体的特徴などなど、様々な面から判断します。正直とても難しい部分で、世話人はいつも頭を悩ませています。

支援は、「どうしよう？」と考え悩み、「どうだったかな？」と見直すことからスタートします。「どうしよう？」と考えるためには、普段から相手に関心を持ち、相手を知らなければなりません。考えるための情報収集を行い、イマジネーションし、実行します。そして「相手にとってどうだったか？」を検証します。『気候』への配慮も、この流れの1つです。つつい雨やどりでは、この流れを大切にしています。自分の事じゃないから、考え悩むのは当然。だからこそ世話人みんなで情報を共有し、同じ意識を持って関わり、記録し、検証していく。また、世話人の個人的な考えだけにならない様、グループで考えます。日々の生活支援をしながら考えていく事は、正直簡単な事ではありません。検証するためには、細かな部分まで対応を統一し、多くの記録を残します。状況に応じて日々変化する支援方法や手順も、引継ぎをしながら対応していきます。入居者みんなの生活を考え、遅くまで記録を書いたり、ミーティングをしてくれる世話人さんたちには頭が下がる思いです。しかし、世話人たちは、「みんなが笑顔で生活するために」と、時間を惜しまず日々考えています。

ただ生活をまわしていただければ、もっと簡単なのかもしれません。しかし、つつい雨やどりの入居者は、ここで生きています。笑って、楽しく生きていくために、そして世話人たちも同じように笑って寄り添っていきけるために一緒に考えていきたいと思っています。(担当 二宮)



風のこえの利用者さんたち

5月に10名の利用者さんを迎え、「風のこえ」がスタートして2ヶ月が過ぎようとしています。利用者さんは個性豊かな人たちがばかりです。時にはぶつかったりしながらも、関わりを持ってお互いが理解できるよう日々頑張っています。

活動の内容を一部紹介します。午前中は散歩をします。島田市内のあっちこちにみんなで出かけて行きます。そのうち、「『おびりあ』で本が見たい。」「リパーティ、アピタに行きたい。」などの声が聞かれるようになりました。急に暑くなってきたこの頃、できるだけ暑さをしのげる所を見つけて出かけています。

午後は作業です。例えばコンビニで買ったペットボトルを洗って干します。ボトルに水を入れガシャガシャと洗っていると、急に水を掛けて来る人、「こらっ」と言う肩を振るわせ笑っています(笑)。部屋の中では、ラベルをはがし、つぶして袋に入れます。少しラベルをはがして渡すとやり始める人、ボトルをつぶす人、それぞれ担当を頑張っています。その他にも、アルミ缶をつぶしたり、牛乳パックを3層にはがして紙すきの材料を作ったり、ほうじ茶や麦茶をスプーンですくってティーパックの袋に入れる作業をしています。



先月行なったクッキングデーでは、材料を買いに行くことから始めました。食べたい物を選んでカゴに入れていましたが、あまりに多くて「こんなに食べられるの？」と思うくらいでした。デザート作りをした人、お皿に盛りつけをした人、それぞれ自分たちでやったという気持ちなのか、「美味しい。」と言いながら食べていました。「今度はいつ？」と楽しみにしているようです。

まだまだ、始まったばかりで試行錯誤中ですが、利用者さんの笑顔が見られ、「明日も来るよ。」と楽しみに通って来られる場所になるよう、職員全員力を合わせてやっていきたいと思っています。(担当 鷲坂)



親の気持ち・・・支援者の気持ち・・・

今年度に入り、講演や講話、見学の依頼がとても多くあります。

静岡市清水手をつなぐ育成会や藤枝特別支援学校の島田市や吉田町の地区懇談会へ呼んでいただいたり、清水特別支援学校のPTAの皆さんが見学を兼ねていらっしやったり、中学校の先生や事業を起こしたいという法人職員の方がたが相談を兼ねて見学に来られたりと様々な方がたがイマジンのサービスや考え方を聞きに来てくれます。

イマジンで、今実施している事業の説明やイマジンの考える“支援の在り方”を時間の許す限りお話しさせていただきます。

私たちにとっては当たり前の考え方やサービスの使い方も、来られた方がたには新鮮で斬新なことに感じるようで、皆さん目を輝かせて話を聞いてくれます。そして、質問形式で皆さんの“???”にお答えしていきます。必ずある質問は「なぜ始めたんですか?」「どうやったら出来ますか?」「私たちの町に事業所を作ってくれますか?」というものです。始めた経緯は話しやすいのですが、「どうやったら…」というのが難しく感じます。事業所は、制度上の条件を揃えて書類を作成すればできます。しかし、肝心なのは“人”です。利用する人はもちろん、支援者がいるか?同じ考えと同じ想いを持った支援者を集められるか?が大事になります。「福祉にプロはいない!」という言葉をお話しします。“福祉=幸せに生活する”という意味です。誰でも支援者になれます。

しかし、配慮や解釈という相手の対応に任せた接し方が一般的な健常者との関わり方だけでは“相手に優しくない”場合が多々あります。障害当事者・ご家族の身になって考え、行動することが出来る人が求められます。そして、知識や情報を持っている人が求められます。

講演や講話を通して感じることは「何とかしたい!」「どうしたらいいの?」という皆さんの真っ直ぐな気持ちです。そのハートに応えたいですね。(担当 澤島)



「こなこな」に行ってきましたっ!!

「こなこな」って何でしょう?? 浜松にあるお好み焼き屋さんです。

6/13(木)に理事長・理事・利用者父兄・職員の有志で行ってきました。

こなこなは、「特定非営利活動法人 地域生活応援団あくしす」が運営する就労継続支援A型サービス事業所です。一般的には『A型施設』と呼ばれている障害者総合支援法に基づいた福祉サービス事業所で、利用者と雇用契約を結び、最低賃金を保障して一般雇用と同じ条件で働いてもらうものです。但し、普通のお好み焼き屋さん。

現在10名の利用者がお好み焼き屋のスタッフとして働いているそうです。男性3名、女性7名の計10名。知的障害者6名、精神障害者3名、発達障害者が1名で、平均年齢は20台後半です。昼間と夜の営業時間に分かれて出勤しているそうです。夜の終わりは10時になるとか。福祉施設と考えると一般的ではない時間。軽くショックを受けました。



“働く場を求める障害者”と“どうしてもお好み焼き屋をやりたいかった関西出身の役員”の化学反応!?から始まったそうです(笑)

「自分のやった事が認められ、やった分だけ稼ぐ、余暇でそのお金をどう使うかがコンセプト」と話を伺い、利用者はやりがいがありそうです。しかし、障害者を前面に出すわけではなく「たまたま入ったお好み焼き屋の店員が少し変わってるなと思われるぐらいな感じで行っています」との事・・・、実際に店内には“障害者が働いています”“福祉施設です”等の張り紙や説明は見当たりませんでした。周りからの賛否ご意見はあるようですし、実際にお客さんからの反応も明暗があるようです。

作業ではなく接客業です。お客さんを待たせないようにしながらも利用者のペースも考えないといけない。ゆっくりなら出来ることも、忙しいと間違えてしまったり、見られていると緊張して逃げ出してしまう人もいます。職員の方がいっしょに働きながら場面場面でお客さんとの間に入ったり、出来ない部分だけ支援をしたり、従業員を笑顔にさせながらもお客さんにも笑顔になってもらうように商売をする。

メニューも少なすぎるとお客さんが・・・増やすと作る側の利用者が・・・と何事にも商売目線で考えすぎると従業員がついてこれなくなり、従業員に合わせた目線で考えすぎると、お客さんや売上に影響が出てしまう・・・「バランスが難しいです。営業と福祉のジレンマです」と語ってくれました。

おしゃれな店内の造り、食事もさせていただきましたが関西風の本格的なお好み屋焼きで、本当に美味しい♪

みんなで「美味しいね」って笑顔になりました♪夜も営業してお酒もあるとの事。昼間の笑顔で元気のいい従業員さんもgood!でしたが、夜の従業員も個性的ならば客層も個性的とか(笑)「今度は夜に来てみたいね」と話しました。

楽しい職場。生きがいになっている日中活動。人間模様がいいですね♪個人的には、クドイ酔っぱらいの話し相手をする、対人に無関心な従業員のやりとりを見てみたいです(笑) (担当 平口)





平成25年度 正会員の募集をしています！

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。NPO法人にとって正会員は必要不可欠な存在です。本当にありがとうございます。

平成25年度の正会員の募集をしています。年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても、下記口座まで振り込まれても結構です。また、イマジンのサービスを利用されている方は引き落としも可能ですのでお申し付けください。イマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。

☆赤堀茂子	☆稲守活次	☆今泉初音	☆江塚和由	☆大石重夫	☆大橋妙子	☆岡崎金二
☆片瀬正治	☆勝岡正明	☆金子信義	☆上城公雄	☆河原 均	☆菅 功	☆喜田星夫
☆久保田里美	☆久保田真生	☆櫻井雅彦	☆柴 勲	☆杉本 斉	☆杉山勝美	☆鈴木利春
☆鈴木康之	☆竹内伊知郎	☆竹林義記	☆村田淑子	☆篤川由美	☆中嶋春夫	☆永田 功
☆成瀬昭彦	☆原田君江	☆袴田則子	☆藤巻正人	☆平野邦江	☆堀田力男	☆前田ともみ
☆牧野利明	☆増田 馨	☆増田孝子	☆増田康秀	☆松本秀男	☆三浦 勇	☆宮浦克枝
☆三輪美幸	☆村上 操	☆望月祐基	☆森元輝一	☆森田 茂	☆森田敬之	☆森西春雄
☆安井 茂	☆柳原文子	☆山内佐敏	☆山崎弘貴	☆山田善己	☆山本隆行	☆吉澤智美
☆吉添みえ子	☆吉田ひとみ	☆渡邊広記	☆和出文子	☆岩ヶ谷せつ子		

【年会費】正会員 5,000円 ・賛助会員(個人) 1,000円 ・賛助会員(団体) 20,000円

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771
 特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通

◆平成25年度の正会員募集中です。ご協力お願いします。



◆◆ しまだ元気市に参加します♪ ◆◆

夏の夕涼み市となる『しまだ元気市』に手羽先の販売で出店します。今年は『志太バル』という企画もあり、チケット購入をしてお店を食べ歩くこともできます。もちろん自由に買い物もできますよ♪たくさんの出店者とともにお客さんをお迎えしま〜す。是非、皆さんいらしてくださいね♪

日 時 平成25年 7月28日(日) 午後5時～午後8時頃
 場 所 島田市 帯通り



◆◆ ウォーキングデイサービスのお知らせ ◆◆



いよいよ夏本番♪地元のプールは少し飽きたというアナタ！小旅行気分を出かけてみませんか？流れるプールにウォータースライダー♪夏を満喫しに行きましょう♪ご参加を楽しみに待ってま〜す！

日 時 平成25年 8月11日(日) 午前8時30分集合
 午後4時30分解散
 行き先 御前崎市営プール「ぷるる」

【連絡先】 特定非営利活動法人 イマジン

障害者支援センターイマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20
 TEL 0547-34-3370 FAX 0547-34-3371
 e-mail imagine@za.tnc.ne.jp
<http://www3.tokai.or.jp/imagine/>

初倉事務所 (つつい雨やどり隣)

〒427-0113 静岡県島田市湯田1-1
 TEL / FAX 0547-30-4117
 e-mail npo-imagine@cy.tnc.ne.jp

